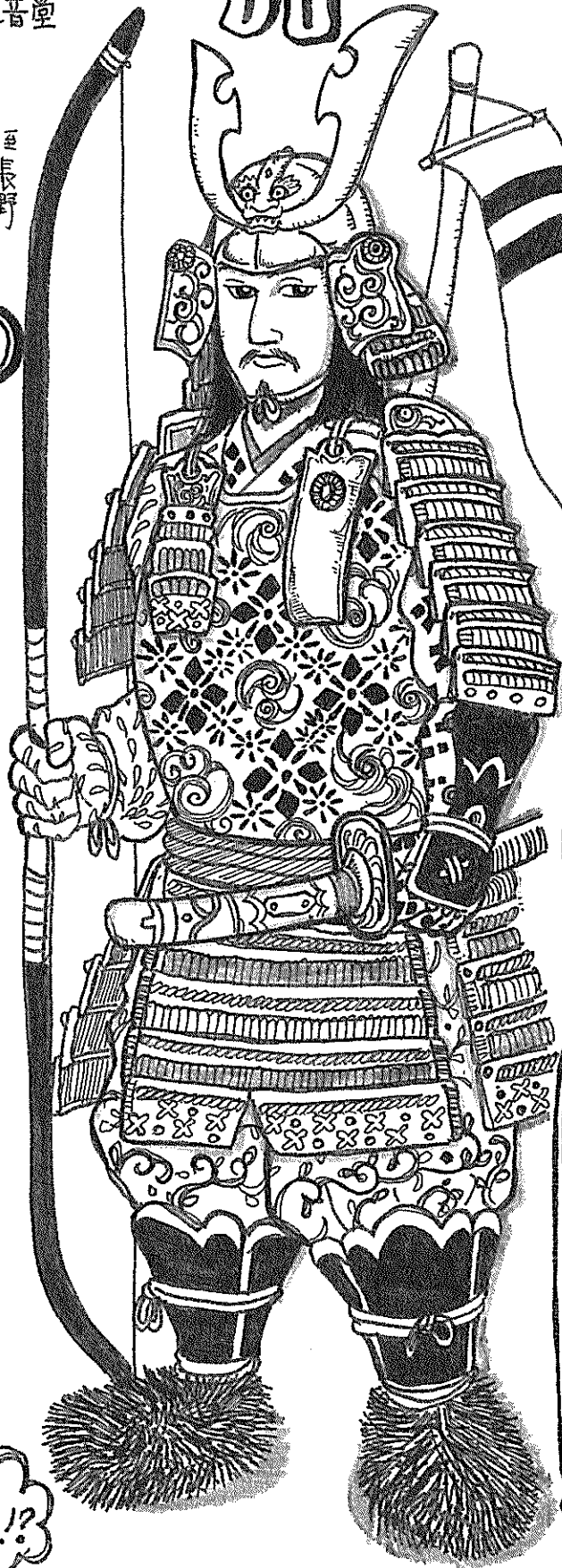


木曾義仲 伝説



① 源義仲 (1154~1184)
平家討伐の為、上洛。
征夷大將軍になる。
木曾地方で育ち、信州に
縁のある武将。
通称 木曾義仲。



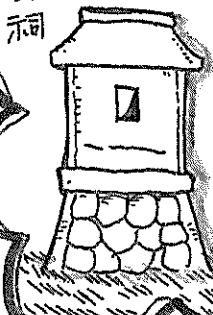
③ しかし朝廷やいこの
源頼朝らに翻弄され
逆賊として討たれて
しまふ。享年31才。

源義仲
力寿丸
木曾四天王
今井四郎兼平
樋口次郎兼光
根井小弥太行親
楯六郎親忠
義仲の息子、力寿丸と
木曾四天王が鬼無里に!?

② 1180年拳兵、
木曾から北上し、
関東の武士たちを率いて
平家軍と戦いながら
北陸を通って入京。
都を治めた。

今井城跡

長峯地区には、今井氏が築いた山城跡があり、今井城と呼ばれています。古井戸の跡、「旗塚」関口」などの古い地名も伝わっています。



山角観音堂

木曾四天王の一人、今井四郎兼平の守護仏とされる。日不見観音が祀られています。

鬼無里に残る源氏伝説

木曾殿城跡

松原地区には、木曾四天王の一人、樋口氏が築いた山城跡があり、木曾殿城と呼ばれています。

▲標高 1,115.7m

土倉文珠堂

義仲の守護仏とされる文珠菩薩を祀っています。知恵を授けてくれる仏さまとして多くの参拝者が訪れます。

力寿丸とアブキ

義仲の死後、家来達は次男、力寿丸を隠まよう為、奥裾花のアブキ(岩屋)に逃がれて再起を計りました。やがて仁科氏の援助を受け、力寿丸は「原義重」と成って生きのび、後の木曾氏へと繋がりつづきます。鬼無里に残る今井姓、樋口姓は家来たちが定住したものだといわれています。

木曾氏の家紋